

# ひだまり

## 目次

散歩道	1
さくら千手園 やまびこ会役員主催行事	2
木の宮学園 木の宮日記	3
山 桜 新しい生活様式	4
地域生活支援センター レインボー 地域生活支援センターレインボー	4
南部よもぎの園 草ぶえの丘販売	5
佐倉市さくらんぼ園 活動紹介	6
さくら福寿苑 納涼祭 ユニット1	7
納涼祭 ユニット2	7
フェスタ代替イベント	8・9
情報フラッシュ	10



〈第2回 木の宮芸能発表会〉

## 散歩道

「ハロウィン」という言葉も、大分耳に馴染んできたと思いますが。去る10月28日に木の宮学園でもハロウィンイベント、芸能発表会を行いました。今回は仮装した上で、ダンス・唄・マジック等を行い、それを加味した上で審査をして、どの作業班が良かったかを決めました。順位によって頂ける賞品を選べるので利用者の方々だけでなく、職員の方も力が入っていた様に思います。各作業班が賞品を受け取るまでのゲームも含めて、皆が楽しめた午後の一時でした。

コロナ禍において、いくつかの行事が中止となり、又、普段の活動にも様々な制限があり、利用者の方々はその事をそれぞれに受け入れて生活をしていきます。窮屈な思いを少しでも緩めることができたらという思いで企画された行事の一つです。この様な機会を少しでも多く持つことで、皆でコロナに立ち向かっていくための糧にできれば良いと思っています。頑張りましょう！

指定障害者支援施設(生活介護・施設介護)支援

## さくら千手園

## やまびこ会役員主催行事

例年とは一味違ったやまびこ主催行事。きっかけは5月に行ったやまびこ会役員会議の、Iさんからの発言でした。「今年、千手会フェスタがでないなら、やまびこ主催行事をフェスタみたいにしたらどう?ほら、お店みたいに。その発言から思い付いたので。」「やまびこ会役員に店番をしてもらって、利用者だけで行事を作り上げたらどうだろ



う...!」役員会議での話し合いを重ね、「ボウリング」「輪投げ」「缶積み」「くじ引き」の4ゲームと、休憩スペースではカラオケをする案で決定しました。内容が決まると次々にやりたい事が溢れ出し、職員に良いアイデアを提供してくれま



す。「ボウリングのピンはベツトボトルで作れるよ!」「それぞれのゲームの所に看板を立

てようか!」必要な物や看板は皆で協力して作りました。何度も集まり夕食の時間が来ても作業を続けて...。約3か月。お客さん(役員以外の利用者)に楽しんでもらえる様、何度も店番の練習をして十分に準備はできました、いよいよ本番です。「2階の共用スペースでは輪投げを行っています。」等と、各ブースを担当する役員が緊張しながらも、どこで何のゲームをしているか放送でお知らせします。行事開始と共に園内は大盛り上がり。あつという間に長蛇の列ができて、運営をしている役員も驚きを隠せません。整列してもらおう様に呼び掛けたり、ゲームのルールを説明したりと大忙し。普段口数の少ない



役員も、お客さんの引いたくじの色を見て景品の場所まで手を引いて誘導、一生懸命に接客を続けていました。店番の練習では「手を引いて連れて行ってあげて。」なんてお願いはしていないのですが...。今まで利用者運営をお願いした事はありませんでした。自分の楽しみは後にして運営ができる事、運営側でも楽しめる事を知らなかったからです。こんなに責任感を持って協力し合って、優しさを持って。なんだか涙が出そうな職員とは真逆の、満面の笑顔に溢れた空間でした。色々な事に気付かせてもらった、利用者主体の、理想的な行事でした。(三橋)

指定生活介護事業所

# 木の宮学園

## 運動グループ



運動グループの活動は主にバスやワゴン車で近隣の公園へ出かけて散歩に取り組み、散歩中はメンバー一人ひとりのペースに合わせて体力の維持・向上に努めています。また、自然や四季折々の移り変わりを肌で感じながらリフレッシュも兼ねています。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、夏の期間にメンバーが楽しみにしている岩名運動公園のプールの利用ができず、グループ職員同士で意見交換をしながら、楽しんで身体を動かせるスポーツやレ

クリエーションに取り組んでいます。例えば、ホール棟でフライングディスク・ボッチャ・玉入れ・大玉転がしの競技を個人戦・団体戦で行い、職員も一緒になって真剣勝負をしています。何度も練習する間に実力もメキメキとつき、夏の終わりには「ミニ運動会」を開催し、大いに盛り上がりました。最後に今年は「コロナ太り」という言葉も良く聞きますが、健康面に注意しながら今後も楽しく活動していきたいです。

(渡邊)



## 木の宮日記

### 工作の秋

アイロンビーズとプラ板作りを行いました。小さなアイロンビーズを並べたり、見本のイラストを見ながら絵を描いたり、細かい工程が多かったのですが、集中して丁寧に



作り上げていきました。完成したものはゴムを通してキーホルダーにしました。皆上手に出来ました！  
(市瀬)

### 食欲の秋

土曜開園日に「秋の餃子皮パイ」を作りました。パイの中心は「スイートポテト」「シナモンアップル」「栗あん」「チョコ



バナナ」の4種類です。煮詰めて、つぶして、混ぜて、包んで、出来上がったものを揚げ焼きしました。どれも美味しく出来上がりましたが、一番のおすすりはシナモンアップルでした！  
(寺地)

指定共同生活援助事業所

# 山 桜

## 新しい生活様式

緊急事態宣言は解除されましたが、まだコロナウイルス感染拡大の影響が続いています。やっと7月になり仕事に行けるようになりましたが、8月は再び仕事に行く事ができない状況でした。自粛中は、支援員達と一緒に計算をしたり、字の練習をしたりと勉強をしている方も居れば、帰省する事ができない為、ご家族へ手紙を書く練習をして過ごされています方もいました。9月になり、仕事に行ける事を伝えると嬉しそうな様子で、久しぶりの仕事に笑顔で向かっています。工賃の支給日になり、お金を貰う事ができると「来月も頑張るよ。」と次月に向けての話をする方や、貰った喜びを噛み締めるようにしている方もいて、そういう姿を見ていると、再び仕事を



自粛しなければならぬ日がない事を祈るばかりです。また、今年度は利用者が一年で一番楽しみにしている行事の旅行も中止となってしまうましたが、皆さん一人ひとり手洗いうがいをしっかりする等、健康に注意しながら毎日頑張っています。早く自粛生活をしなくてもよくなり、コロナウイルスが流行る前のような日々が来るのを待っています。  
(並木)

指定相談支援事業所

# 地域生活支援センター レインボー

レインボーでは障害に関する相談業務の他に、言語聴覚士による就学児を対象とした療育「言葉の教室」を実施しております。知的な遅れや発達に偏りのあるお子様は、3歳児健診等の際に、市が行う「ことばと発達の相談室」に通うよう助言され、言語聴覚士による専門的な療育を受けることで成長発達を促していきます。

しかし、市の「ことばと発達の相談室」は未就学児を対象としており就学されると学校教育での指導が主体となります。小学校で行う「ことばの教室」は「構音障害・吃音」に対する指導が中心となり、療育を希望する就学児は遠方の専門機関や私的学習塾に通わなければ療育は受けられない状況でした。このような状況を知り、佐倉市と千手会で協議を行い、平成22年からレインボーに「言語聴覚士」を配置し、就学児の療育「言葉の教室」を開始しました。療育希望の受付は「佐倉市手をつなぐ育成会」と連携し、執行行つてもらっています。

「言葉の教室」は放課後や土



曜日に行い、児童が40分位本や絵カードを声に出して読んだり、プリント問題を解いたりする個別指導を受け、その後保護者が家庭での学習内容やお子さんの特性についての助言や指導を20分程度受けられます。児童の様子を見ながら個別対応の他、集団での療育や、高校受験を見据えた学習指導に発展する場合もあり、対象年齢は小学生～中学生となっています。

児童の療育を行うには、専門的な知識と経験が求められ、人員不足のため受け入れ児童数はなかなか増やせませんが、今後児童の成長発達のために貢献していきたいと思えます。  
(須藤哲)

指定就労継続支援B型事業所

## 南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

## 「佐倉草ぶえの丘」作品販売

「ひだまり70号」に記載させていただきましたが、新型コロナウイルスによる影響で、取引会社の撤退等により、受注作業がほとんどなくなってしまいました。佐倉市障害福祉課からの提案で、手作りマスクを作成し、3月末頃より佐倉市役所本館ロビーにて販売をスタートしました。その他に、6月より草ぶえの丘にてマスク以外の手作り品も月1回日曜日に販売できるようにになりました。利用者それぞれが得意なことを生かし、作業を分担して作成しています。マスクはもちろん、マスクケース等の関連商品の他、乾燥ハーブを入れたポップリやラベンダースティック、ランチョンマットやビーズの小物など多種多様です。ローズマリーやラベンダーの苗木も販売しています。その中でも好評なのはマスクストラ

ップです。食事の時などマスクを外しマスクケースを利用するか、カバンにぽいっと入れていると思いますが、そのままはずして首にかけられるようにしたものです。サテンのリボンを使わず編んで作ります。1本1本編んでいるので大量生産はできませんがいろいろな色があります。メガネチェーンと同様のものですが、お客様からの要望にお応えしメガネ用も作成するようにになりました。今ではマスクもファッションでその日の服装に合わせて、おしゃれを楽しんでいる様です。ストラップもマスクに合わせて色違いを複数購入してくださる方も多くいらっしゃいます。様々な品を多数取り揃えていますので、是非草ぶえの丘に足を運んでみて下さい。皆様のご来店をお待ちしています。

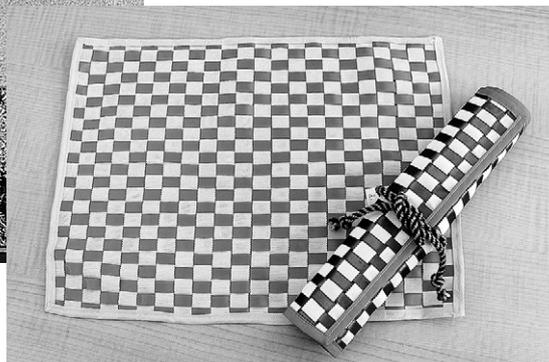
(山本奈)



ラベンダースティック



マスクケース



ランチョンマット

指定福祉型児童発達支援センター

# 佐倉市さくらんぼ園

指定管理者社会福祉法人千手会

## 活動紹介 うさぎ



うさぎクラスは主に0～6歳児のしたいふじゆうの子ども達が在籍しています。

日々の活動は制作や感触遊び、公園に出て外遊びなどを行っています。夏の時期は夏らしい気分が味わえるように7月と8月に水遊びを室内と屋外で行いました。前年度は大きなビニールプールに入って全身で水の感触を感じていました。今年度はコロナの関係でプール遊びができませんでした。なので、

水車のくるくると回る様子を見たり、トレーに入った魚等の掴み取りをしたりといった玩具での水遊びを楽しみました。又、お母さん達に手や足、顔に水をかけてもらって水のひんやりとした感覚に対する気持ち良さそうな表情や驚いた表情が見られました。他には、自分で手を動かして水面をバシバシと叩いたり、容器に水を入れて身体にかけてたりと自分自身の身体で水を楽しんでいる姿もありました。水で動く玩具を見る・水の流れる音を聞く・手や足で水に触るといった色々な感覚が感じやすい感覚や好きな感覚で遊びを楽しんでいました。遊びは繰り返し経験することで苦手なことに慣れたり、自分で予測して動いたりするようにもなっていくこともあります。それに子どもも以前遊んでいた姿をヒントに遊びを少し変化させて行うことで新しい姿を知れる時もあります。これからも子どもたちにとっての「楽しい」「面白い」といった気づきを一緒に活動の中で見つけていきたいと思っています。

(岡)

## 活動紹介 いぬ

いぬクラスは主に2歳児の子どもたちが在籍しています。主な活動として運動遊びや感触遊び、季節の制作等を毎月行っています。この日の活動はクラス内での夏祭りです。内容はお面作りとペットボトルシユーターをしました。お面はまず、子どもたちが好きなキャラクターを選択します。その後は見本のキャラクターの顔を見ながら、顔のパーツを糊を使って貼り、顔の構成をします。出来上がったキャラクターを帯とくっつけて完成です！自分で作ったお面をつけて夏祭りを楽しみます。送



風機に長いペットボトルのトンネルを繋いで遊びます。トンネルの始点に穴がありそこにボールを入れると風でボールが反対側に勢いよく転がっていきま

す。大きな音にびっくりする子、風が体いっぱいにかかって笑顔な子・ボールが転がるのを見ている子・沢山の楽しみ方のあるペットボトルシユーターは大人気でした。このコロナウイルスの影響で夏祭りが開催できない状況です。小規模ではありますがクラス内で夏祭りをし、子どもたちの笑顔も見ることができてとても良い一日でした。

(加瀬)



地域密着型特別養護老人ホーム

# さくら福寿苑

## 納涼祭 ユニット1

8月16日、季節を感じていただき、普段とは違う雰囲気を楽しんでいただこうと思いいユニット単位の納涼会を開きました。

ユニット1では、職員がはつぴを着て夏祭りを演出し、輪投げ、カラオケ、花火を行いました。輪投げでは参加の景品として駄菓子を取り、皆さま希望の商品を獲得され喜びました。カラオケでは昔のなつかしい歌をみんなで大合唱しました。花火では久しぶりに花火で火葉や煙の臭いを嗅いだと、皆さま大変喜ばれていました。

夕食では、厨房にお願いし屋台の縁日に出るメニューを用意。たこ焼き、ヤキソバ、焼き鳥を夢中になって食べていました。その他に希望者にはノンアルコールビール、ジュースを用意。普段飲むことができない飲み物で夏を満喫して頂きました。  
(角)



## 納涼祭 ユニット2

今年はコロナウィルスの蔓延から、各ユニットでの開催となり、8月30日に行いました。ユニット2では、ゲームを中心に皆さんと一緒に楽しみました。ゲーム名は、「何でも釣っちゃって」という魚釣りゲーム「どこまで行っちゃおうの」というお手玉を飛ばすゲーム「麦わら帽子飛んでけ」という傘を裏返した中に帽子を入れるゲームをしました。

日頃体を動かすことが少なく集中して頂けるか心配でしたが、皆さんの頑張り笑顔が印象に残りました。どのゲームも座って行うものでしたが、勢いのあまり立ってしまいう方もいました。

ゲーム終了後、夏の風物詩としてDVDと大きなスクリーンにて花火大会の映像を観て楽しんで頂きました。

「きれいだな」「すごいね」と皆さんに喜んで頂いた事が、とってもうれしかったです。

夕食は、「たこ焼き、ヤキソバ、焼き鳥」など屋台メニューで、夏祭りを満喫して頂きました。  
(石川佳)



## さくら千手園

### 千手園フェスタ

待ちに待った千手園フェスタの日。朝からワクワクが止まらず、「今日はお祭りだね」「どんな食べ物が出てくるの?」「カラオケ楽しみ」と会話が弾みます。中庭にキッチンカーが3台並び、美味しそうな匂いが園内に漂います。昼食は、スペアリブに宇都宮餃子、横手風焼きそばと種類も豊富。あいにくの天気のため、中庭に出てキッチンカーから直接受け取る事はできませんでしたが、テーブルに並べられた食事に舌鼓を打ちます。「とても美味しい」「いい匂いだね」「食べきれないよ」と喜びの声が上がります。食事が終わるとカラオケタイムです。大きな舞台に立ちま

イクを握りしめ、時間が経つのも忘れて歌ったり踊ったり、とても楽しい時間を過ごしました。



最後はフェスタ恒例の抽選会。ビンゴの機械をゆっくり回して景品が当たると大きな歓声が上がります。「お菓子だ!」「ぬいぐるみ嬉しい」「これ欲しかったんだよ」と喜びの声が上がります。毎年、利用者が楽しみにしている千手園フェスタは実施できませんでしたが、また違った雰囲気を感じた一日でした。

(小石)

## 木の宮学園

### 収穫祭

11月7日木の宮学園では収穫祭が行われました。収穫と言っても外で実施するものではなく、本物そっくりの野菜や果物を作って作業棟に設置をしました。柿とリンゴ狩りはテントの骨組みに本物のように手作りの葉っぱと実が沢山なっています。思わず「うわあ、すごい」との言葉がでてしまうような空間でした。麦わら帽子を被ってもぎ取りました。実がとれた時のみんなの表情は最高の笑顔でした。ブドウ狩りでは、実の1粒を紫の風船で作り、風船を並べて大きなブドウになっていました。ブドウが破裂しないか、おっかなびっくりで収穫する人もいました。キノコ狩りや芋掘りでは、毒キノコや半分も混ざっていましたが、みんな騙される事なく上手に見分けて収穫していました。

野菜や果物の中にはそれぞれのお菓子が入っています。何



が入っているかは家に帰ってからの楽しみです。みんな自宅へ持ち帰り、お家の方と収穫祭の話をしながら美味しく食べた事と思います。当日は雨の予報も出ていましたが、晴れてとても心に残る収穫祭となりました。

(朝比奈)

# フェスタ会の手代 イベント

毎年、フェスタ会  
フェスタを秋に  
行っていました  
が今年はコロナ  
の関係で中止と  
なっていました  
した。そこで、  
さくららぼ園と  
南部よもぎの園  
はフェスタ会  
の手代フェス  
タを行う予定  
です。

だった11月7日に合同で小規模の秋祭りを行いました。密を避けるために1クラス1時間と時間を決めて行いました。登園してきた子どもたちは出店を見るとキラキラとした笑顔で自分のやりたいものに走って行く姿がとても素敵でした。反対に何から回ったらいいか入口で悩んでいる姿もチラホラと見られました。出店はボウリング、ヨーヨー、缶積みを行いました。他にも制作コーナーでカップツリーとクリスマスアレンジメントを作れる場所も用意しました。南部よもぎの園では、マスク・手芸品などの作品販売とくじ引きとキーホルダー作成コーナーがありました。

## フェスタ会

佐倉市さくららぼ園・南部よもぎの園



クラスごとに時間を分けたことにより、混雑することがなくスムーズに回れて良かったと参加者からお言葉を貰うことができました。又、ほとんどの方が、全ての出店を楽しんでいました。全て終わったら後も繰り返しに入った所に行きゲームをやる姿も見られました。帰りはお菓子の詰め合わせをお土産に貰い満足そうに帰って行きました。その姿を見ていつもと違う形ではありましたが、行事を行うことができて良かったと心から思いました。  
(井口)

今年5月に行った「イチゴ狩り」の第2弾として、10月23日に「ぶどう狩り」を行いました。5月のように屋外で行う予定でしたが当日はあいにく雨天のため玄関ホールを使って屋内での実施となりました。テナントを広げて網をかけ、本物のヤツデ、ナンテン、ツタの葉などを網の上部にあしらいました。網の下部には種無しぶどう二種（紫・緑）とぶどう100%ジュースで作ったゼリーを一口大に包んで吊るしました。ご利用者が玄関へ進まれると、廊下には「ようこそぶどう園へ」の札が出迎え、その先には本物さながらのぶどう園が現れます。「いらっしゃいませ〜」職員が呼びかけると皆様「わ〜すごい」と笑みを浮かべ、目を大きくされてぶどうを眺められたりしていました。手をのばして取り「甘いね」と喜ばれるご

## ぶどう狩り

さくらら福寿苑



利用者様。食事が落ちていく方も不思議と食が進みます。その様子を見て、やって良かった、また次も頑張ろうと職員一同が感じていました。コロナ禍で外出行事も以前のようにままならない中、体験を通して皆様の笑顔が少しでも増えたら幸いです。  
(須田)

ご寄付に感謝いたします

\*さくら千手園家族会

壁掛けテレビ2台

### いちおし作品

南部よもぎの園では、マスク販売を行っていますが、マスク関係の製品も作成しています。マスクストラップ・マスクチャーム・リボンバンドです。マスクチャームはマスクをしていても顔周りを華やかにするようゴムにつけることでまるでイヤリングをしているよ



マスクチャーム



うに見える品物です。リボンバンドは耳にかけたゴムが痛くならない様に、又後ろから見ると髪飾りのように見える品物です。一つ一つ手作りなので同じものが出来ません。小さなビーズにテグスを通すのも一苦労です。時間もかかる作業ですが利用者が一生懸命作成しています。まだまだマスク生活分になればと思いいれからも作り続けます。

(山本奈)

マスクストラップ



リボンバンド



よろしくお願ひします

- ①趣味 ②特技 ③出身地
- ④マイブーム ⑤好きな有名人



さくら千手園生活支援員 黒崎 幸夫

- ①ボーリング ②サッカー
- ③秋田県秋田市 ④ドライブ
- ⑤特になし



さくら千手園生活支援員 田邊 清子

- ①水泳 ②なし
- ③東京都 ④スマートフォン
- ⑤モーリー・ロバートソン



さくら千手園事務職員 石渡 恵子

- ①映画・ドラマ鑑賞 ②水泳
- ③千葉県柏市 ④スコーン作り
- ⑤鈴木亮平



木の宮学園生活支援員 磯貝 聡

- ①ショッピング・料理・酒
- ②マラソン ③東京都 ④なし
- ⑤弘中綾香・永作博美

お世話になりました

- ☆鈴木 ベーラ (さくら千手園)
- ☆岡本 謙二 (木の宮学園)
- ☆百瀬 美代子 (木の宮学園)

おめでとうございます

☆ご誕生

小石 晃正 (さくら千手園) 7月31日 帆夏ちゃん

### 編集後記

新型コロナウイルスが中々収束しないまま、寒さや乾燥が増し、インフルエンザが流行る時期となりました。感染症対策をするのももちろん、一番大切なのは笑う事です。笑いは免疫を上げるのに一番効果的だそうです。これからクリスマスや年越し、お正月など、楽しいイベントが盛りだくさん！どうにか明るい気持ちで楽しみたいですよ。今年はおオンライン〇〇という言葉が流り、オンライン上で飲み会や習い事、デートなどを楽しむ前向きな人達も増えていきます。まだ自粛ムードで暗い雰囲気もありますが、楽しむ工夫をして、沢山笑い、元気に過ごしましょう！ (近藤)